

海水浴を安全に!

遊泳中における事故の約半数が20歳未満、
うち死者・行方不明者は、**全て10代後半**です。(過去5年統計)

海の特性を 知ろう!

波や風

一定ではなく変化します。
突然の大きな波に飲み込まれ
溺れることも。強い風は
フロート遊具が転倒したり、
遠くまで流されたり
します。

りがんりゅう 離岸流

見た目では分からない
沖に向かう強い流れがあり
あっという間に沖まで
流されます。海岸と平行に
泳ぐことで、抜け出せる
こともあります。



海底地形

海では海底が見えづらく
急に深くなったり、石や岩等
の存在で、溺れたり怪我を
したりする危険があります。
マリンシューズ等の
着用も効果的です。

遊泳事故を 防ごう!



開設された海水浴場で!

海浜事故のほとんどが海水浴場以外で起きています。インターネット等で事前に
調べて、監視員等のいる海水浴場を利用して下さい。



無理・無謀な行動はやめて!

体調不良時は海に入らないでください。海に入る際は、準備運動をしっかり行いましょう。無謀な行為による死亡事故も多く発生しています。ライフジャケットを着て命を守ってください。



天気の悪いときは、海に行かない!

事前に天気予報で風や波をチェック! 天気は変化します。白波が立っていないか
風が強まっていないか、最新の天気予報を確認してください。

Water Safety Guide

海上保安庁ウォーターセーフティガイド



海上保安官
のいろいろなしごと

マリンレジャーの
安全情報が掲載されています。

北海道教育委員会

第一管区海上保安本部



お子様が、友人同士で海へ遊びに出かける時は、保護者の方からもご指導をお願いいたします。

北海道では、過去5年に49名の方が遊泳中の事故に遭っており、その約半数が20歳未満です。

遊泳中の事故は、一瞬にして命を落とす危険があります。特に、体力のある中学・高校生の死亡事故が多く、事故のほとんどが海水浴場以外で発生しています。

事前に情報収集を行い、監視員やライフセーバーがいる開設された「海水浴場」の利用をお願いします。

お子様の元気な「ただいま！」が聞けるように…

●開設された海水浴場の利用

海水浴場以外では、水上オートバイ等との接触、監視・救助体制が整っていない等の危険があり、海水浴中の事故の9割以上を占めます。

その他、思わぬ事件・事故に巻き込まれる可能性もあります。

●気象・海象等の事前の情報収集

風や波は想像以上の力があり、遊んでいる途中でも変化します。白波が立っていないか、風が強くなっているか注意が必要です。

天候に応じて、計画の変更も必要です。

●無謀な行動をしない

10代後半では「無謀な行為」が原因の死亡事故が多く発生しています。

海では見た目では分からない強い流れや突然の大波、急な深みがあり、泳ぎが得意でも溺れる危険があります。ライフジャケット等の着用も大切です。

●万が一に備えた連絡体制の確保

万が一に備え、スマホ用の防水パックを使用する等、連絡体制の確保をしてください。海での緊急通報は118番です。

行先、帰宅時刻の確認をし、元気な「ただいま！」が聞けるように…



マリンレジャーの
安全情報が掲載されています。



海上保安官 YouTube
のいろいろなしごと

北海道教育委員会

第一管区海上保安本部